

# 平成 28 年度 事 業 報 告 書

## I 法 人 本 部

社会福祉法人啓和会は、平成 28 年度事業計画に基づき、設立の理念と公益性を踏まえ、多様化する福祉ニーズに応えられるよう、提供するサービスの質の向上に努めました。さらに事業経営の透明性の維持のため法令を遵守し、社会情勢の変化に柔軟に対応できる経営姿勢で事業基盤の強化を図りつつ、次に掲げる事業の経営を行いました。

### 経 営 施 設 等 一 覧

	施 設 名	施 設 種 別	所 在 地	開 設 年 度	利 用	定 員
第一種社会福祉事業	久喜けいわ	障害者支援施設	久喜市六万部 1435	(昭和 63 年 7 月)		
		施設入所		平成 21 年 6 月	入 所	54
		生活介護		”	通 所	67
		就労移行		平成 22 年 3 月	通 所	15
		就労継続 B 型		”	通 所	32
		短期入所 日中一時 (公益事業)		平成 10 年 4 月 平成 18 年 10 月	短期入所 通 所	6
第二種社会福祉事業	グループホーム清久	障害福祉サービス事業所 共同生活援助 短期入所	久喜市上清久 1524-1	平成 18 年 10 月	入 居 短期入所	44 1
	久喜市いちょうの木	障害福祉サービス事業所 生活介護 日中一時 (公益事業)	久喜市所久喜 835-1	(平成 19 年 4 月) 平成 24 年 4 月	通 所	40
	久喜市立のぞみ園	児童発達支援事業	久喜市北青柳 1331	(平成 22 年 4 月) 平成 24 年 4 月	通 所	10
	久喜市ゆう・あい	障害福祉サービス事業所 生活介護	久喜市上内 327-6	平成 24 年 4 月	通 所	20
	久喜市あゆみの郷	障害福祉サービス事業所 生活介護 就労継続 B 型 日中一時 (公益事業)	久喜市東大輪 2273-1	平成 24 年 8 月	通 所	15 15

	久喜けいわ	生計困難者に対する 相談支援事業	久喜市六万部 1435	平成 26 年 11 月	—	—
	障害者生活支援センターきよく	相談支援事業	久喜市六万部 1445	平成 26 年 4 月	—	—
	埼玉葛北障害者生活 支援センター	相談支援事業	久喜市青毛 753-1	平成 18 年 10 月	—	—
公 益 事 業	埼玉葛北障害者生活 支援センター	埼玉県障害児等 療育支援事業 巡回支援専門員整備 事業	久喜市青毛 753-1	平成 11 年 10 月 平成 28 年 4 月	—	—
	埼玉県地域生活定着 支援センター	地域生活定着促進 事業	久喜市青毛 753-1	平成 22 年 5 月	—	—
	久喜市障害者就労 支援センター	久喜市障害者就労 支援事業	久喜市青毛 753-1 久喜市久喜中央 2-4-18	平成 16 年 6 月	—	—
	埼玉葛北障害者就業・生 活支援センター	障害者就業・生活 支援センター事業	久喜市青毛 753-1	平成 19 年 4 月	—	—

久喜けいわの生活介護では、機能訓練棟に必要な用具を整備し、健康作りのための運動を日常的に行いました。

就労継続Bでは、収益性の高い作業種の確保と味噌の販路開拓を行い、平均工賃月額は前年度を若干上回りました。

平成 28 年 4 月にグループホーム「うちや」を開設しました。新たな土地でのスタートでしたが、地元区長を中心とした地元の方々のご協力をいただき、入居者 5 名の生活が始まりました。

うちやの就労継続支援 B 型事業所（定員 20 名）は、県費補助は受けられませんでした。自己資金で計画通り建築整備しました。「ワークハウスコムラード」と命名し、現在、平成 29 年 7 月 1 日の事業開始に向けて準備中です。

在宅障害者のニーズを展望できる窓口としての支援センターでは、生活面では入所施設やグループホーム等の入居相談が多くありました。また、虐待ケースで緊急の対応を行ったり、成年後見制度の相談があったりと、権利擁護に関する相談が増えてきています。就

労面では、精神・発達障害の方の相談が増加傾向にあり、福祉事業所や医療機関と連携して支援を行いました。就職者が増えていく中で、職場定着支援にかかる比重が大きくなってきています。

久喜市の施設である「いちょうの木」、「ゆう・あい」、「あゆみの郷」は、平成29年3月末で指定管理期間が満了になります。その後の指定管理者候補として久喜市から随意指定を受け、久喜市指定管理者候補者選定委員会等の審査や市議会での審議を受けて、平成29年4月1日から5年間、3施設の指定管理者として引き続き管理運営することになりました。

## I 本部事業

### 1 役員会・評議員会及び監事会の開催

日 時	議 題	場 所	出席状況
平成28年5月18日(水) 監事会 10:30~17:30	1 平成27年度理事の業務執行状況 2 平成27年度財産の状況	久喜けいわ	監事2名 常務理事 幹部職員
平成28年5月25日(水) 第65回評議員会 10:00~12:20 第96回役員会 14:00~15:20	1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度決算について 3 規程の一部改正について 4 その他	久喜けいわ	評議員 14/18 理事 8/9 監事 2/2
平成28年9月28日(水) 第66回評議員会 14:00~16:00 第97回役員会 16:30~17:20	1 給食サービス業務委託契約について 2 施設整備について 3 平成28年度第1回補正予算(案) 4 規程の制定・一部改正について 5 その他	久喜けいわ	評議員 15/18 理事 8/9 監事 2/2
平成28年12月19日(月) 第67回評議員会 10:00~12:00 第98回役員会 14:00~15:00	1 社会福祉法改正に伴う協議について(評議員会) 2 定款の変更について 3 評議員選任・解任委員会の設置について 4 評議員選任候補者について(役員会) 5 規程の一部改正について 6 その他	久喜けいわ	評議員 17/18 理事 9/9 監事 2/2

平成 29 年 3 月 10 日 (金) 第 1 回評議員選任・解任 委員会 17:30~18:00	1 委員長選出 2 社会福祉法改正に伴う新評議員選任 の件	久喜けいわ	委員 4/4 常務理事 事務局長
平成 29 年 3 月 28 日 (火) 第 68 回評議員会 10:00~12:45 第 99 回役員会 14:00~15:30	1 理事の退任について (評議員会) 2 理事の選任について (評議員会) 3 幹部職員の人事について 4 平成 28 年度第 2 回補正予算 (案) 5 平成 29 年度事業計画 (案) 6 施設整備について 7 平成 29 年度予算 (案) 8 定款施行細則の制定について 9 規程の制定について 10 役員賠償責任保険の保険料負担につ いて 11 その他	久喜けいわ	評議員 14/18 理事 8/9 監事 2/2

## 2 経営会議の開催

経営会議の要素を含めた幹部会議を 11 回開催しました。毎月第 2 水曜日を定例開催日として主査以上の幹部が参加し、各事業所の運営状況の報告や課題の抽出、法人運営に関わる重点事項について協議するなど、情報共有と課題解決の早期化が図られています。

## 3 経営財源の確保

- (1) 全体に利用状況が良好で自立支援費収入が増えています。支援センターでの公益事業収入も堅実な運営を反映して年々増加しています。
- (2) 人材確保のための給与見直しにより人件費は年々増加となっておりますが、収入増によりカバーされております。
- (3) 就労継続 B 型の事業所を自前で整備したことで積立資産を取崩しましたが、決算で収支差額の一部を積立て今後の施設整備に向けた財源の確保もできています。
- (4) 寄附金による財源確保
  - ・ 経常経費寄附金収益は昨年度より約 1,000 万円程減少となりましたが、昨年度は予想外の大口寄附があったため、今後は今年度並みに推移すると思われま。平成 28 年度は、次のとおり、企業、団体及び個人からの寄附を受け入れました。また、固定資産の受贈、国、県からの助成金を受け入れています。

寄 附 者	金 額
(本 部) 恵比寿化成様他 6 企業・1 団体 宮川耕一様他 87 名の個人 小 計	1,303,000 円 4,810,630 円 6,113,630 円
(久喜けいわ) ボーイスカウト久喜団様他 2 団体	231,000 円
(いちょうの木) 清久婦人会様他 2 団体	21,000 円
(あゆみの郷) 林光成様他 1 名	111,818 円
合 計	6,477,448 円

(5) 固定資産受贈

寄 贈 者	金 額
(本 部) 内山トシ江様 クボタミニ耕運機 トヨタシエンタ 合 計	143,000 円 787,522 円 930,522 円

(6) 助成金

支 払 先	金 額
(本 部) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者 雇用調整金	648,000 円
(けいわ就労B) 埼玉県障害者支援課 技術指導員支援制 度補助金	340,000 円
合 計	988,000 円

#### 4 施設整備等

(1) 下記の施設整備を実施しました。

① 法人本部事業施設整備等

事 業 内 容	事 業 費 (円)	財 源 (円)
1 コムロード建築用土地購入	4,200,000	自己資金
2 コムロード建物建築 (建設仮勘定)	53,200,800	自己資金
計	57,400,800	

② 利用者の利便性を高めるため、サービスの質の向上、業務の効率化のための整備

事業内容	事業費(円)	財源(円)
1 トラクター取付播種機	490,000	自己資金
2 けいわ生活棟壁面塗装	2,084,400	〃
3 けいわ自立棟給湯設備修理	258,017	〃
4 けいわ生活棟トイレ床修理	1,079,244	〃
5 けいわ生活棟給湯器入替	360,000	〃
6 いちょうの木屋上換気塔修理	270,000	〃
7 ゆう・あい冷蔵庫設置	210,600	〃
8 ゆう・あい門扉修理	275,400	〃
計	5,027,661	

① ② 総 額	62,428,461	
---------	------------	--

## 5 危機管理の体系化と対策の強化

- (1) 台風による水害により、高齢者グループホームにおいて多数の利用者が亡くなる被害が発生したことから、水害や土砂災害に関する非常災害対策計画の策定が求められました。そこで求められる項目に沿って、まずは、久喜けいわの地震及び水害に対する防災計画を作成しました。その他の事業所については、久喜けいわの防災計画を参考にそれぞれの事業所の立地条件に見合った防災計画を作成することとしました。
- (2) 久喜市と協定を結んでいる福祉避難所については、仮設トイレの設置等、開設訓練を実施しました。
- (3) 神奈川県相模原市の津久井やまゆり園で発生した事件には大変ショックを受けました。夜間の外部からの侵入者を防ぐことは難しいものがありますが、県の事業の活用も検討していきます。
- (4) 預り金の適正管理を継続して実施しました。

## 6 借入金の償還状況

借入年度 借入先	借入額	期首残高	平成 28 年度 償還補助金	平成 28 年度 償還金	借入残高
平成 18 年度 埼玉県民間社会福祉 施設整備促進資金 借入金（生活介護）	円 1,500,000	円 150,000	円 元金 150,000 利子 1,022	円 元金 150,000 利子 1,022	円 0

平成 18 年度 埼玉県民間社会福祉 施設整備促進資金 借入金（就労継続）	12,969,000	1,296,900	元金 1,296,900 利子 8,843	元金 1,296,900 利子 8,843	0
平成 8 年度 福祉医療機構 （生活介護）	67,000,000	3,350,000	利子 3/4 72,862	元金 3,350,000 利子 97,150	0
平成 18 年度 福祉医療機構 （就労継続）	25,000,000	14,410,000		元金 1,310,000 利子 261,345	13,100,000
平成 27 年度 福祉医療機構 （GH 清久）	10,000,000	10,000,000		元金 0 利子 52,974	10,000,000
埼 玉 県 計	14,469,000	1,446,900		1,446,900	0
福祉医療機構 計	102,000,000	27,760,000		4,660,000	23,100,000
合 計	116,469,000	29,206,900		6,106,900	23,100,000

## 7 地域福祉活動

### (1) グループホーム入居者のバックアップ（久喜けいわ）

医療面では看護師による定期的健康管理を実施し、適切なアドバイスや処置を行いました。栄養面では管理栄養士による栄養ケアマネジメントにより肥満の防止や塩分管理に努めました。

### (2) 障害者福祉ニーズの調査

平成 28 年度の障害者福祉ニーズの調査は、相談支援センターが受けた相談内容から、傾向を把握しました。

	今年度	前年度
生活に関するニーズ	50%	49%
施設に関するニーズ	20%	17%
医療に関するニーズ	17%	19%
職業に関するニーズ	6%	7%

教育に関するニーズ	4%	3%
その他	3%	5%

(3) 久喜市知的障害者青年学級運営委員派遣

久喜市フレンドシップ学級運営委員を派遣しました。(5名)

(4) 歯の健康促進

障がいのある人の歯の健康促進を図る目的で久喜市歯科医師会との共催による研修会を実施しました。研修会は2部構成で「ブラッシング・プラークコントロールの意義、方法」と「障がい者の口腔ケアの注意点」について学びました。

(5) 指定管理施設送迎サービスの実施

リフト付き車両で朝夕の送迎を実施しています。利用者は「いちょうの木」で28名、「ゆう・あい」で9名、「あゆみの郷」で17名です。

8 彩の国あんしんセーフティネット事業（生活困窮者に対する相談支援事業）

生活困窮者及びその周辺者からの相談がありませんでした。また、所属している彩の国あんしんセーフティネット事業第4ブロックからの相談依頼もなく、実績はありませんでした。

9 人材確保と人材育成

(1) 幹部職員の育成・確保

- ・ 幹部職員の育成要素を含め、主査以上の幹部を構成員とした経営会議を毎月の定例会議として実施しました。
- ・ 経営会議終了後には、毎時、幹部職員による自主勉強会を開催し、経営会議に諮るための事前協議や多角的にテーマを決めて意見交換を行ない、幹部としての意識と質の向上を図りました。
- ・ 幹部職員研修として、労務コンサルの社会保険労務士を講師とした「ハラスメント・過重労働予防対策研修」を実施し、職員の労務管理について学びました。

(2) OJTの充実、合同研修の実施、法に定められた医療介護のスキル研修

- ・ 新任職員に対して、主任を指導責任者、若手職員をOJT担当とし、個々のOJT計画を作成して取り組ませました。
- ・ 新任職員に対して、各事業所の幹部を講師とした法人研修を実施しました。法人事業への理解を深めてもらえるよう、各種講義のほか、実技や事業所見学なども盛り込み、内容を充実させました。
- ・ 法人全体研修として、新任、幹部研修のほか、「理事長講話」「安全運転講習」「救命救急講習」「介護技術研修」等を開催しました。

(3) ケアマネジメント従事者養成研修への参加

- ・ サービス管理責任者等研修に17名を参加させました。



- ・相談支援従事者初任者研修に7名を参加させました。
- (4) 職員の労働環境の整備、適材配置のための職員面談の実施、流出防止
- ・必要に応じて労務コンサルに相談し、法令遵守、適性な業務執行に努めました。
  - ・産業医による心身の健康相談を実施し、労働環境の充実に努めました。
  - ・ストレスチェックを実施し、その結果に基づいて上司や産業医との面談を実施しました。
- (5) 職務点検活動の一環として、上司による面談を実施しました。

## 10 委託給食の評価

毎日の検食簿と毎月の給食会議で評価を行っていますが、委託後の給食内容には満足の結果が出ています。

## 11 地域社会との連携の強化

- ・日常的活動による住民との連携は、全事業所利用者がいろいろな場面で地域行事や地域活動に自然な形で参加しており、好ましい繋がりができてきています。
- ・「ふれあいの家しらはた」は、婦人会活動など地域で有効に活用され、喜ばれています。

## 12 スポーツ振興事業等の推進

マラソンクラブ、音楽クラブは多くのボランティアのサポートにより順調に活動しています。引き続き本部は振興費の助成を行なっていきます。

## 13 広報活動の充実

広報活動の内容を見直し、充実を図りました。

- ・法人ホームページの更新と情報公開の充実
- ・事業活動用 DVD と「啓和のあゆみ」と題した DVD を新たに作成し、保護者総会や法人研修にて活用
- ・求職者用の新パンフレットを作成し、学校や関係機関へ配布
- ・久喜けいわの広報誌を作成し、利用者、保護者へ配布
- ・地元のタウン情報誌を活用し、啓和みそや啓和餃子などの自主製品 PR を実施

## 14 家族会・後援会との連携

本部嘱託職員が家族会・後援会の対外的活動と事務処理等について応援しています。

## 15 虐待防止の取り組み強化

「虐待防止委員会設置要綱」を制定し、委員は各部署・事業所における虐待防止の

リーダーになる「虐待防止マネージャー」としました。

また、委員会の中に「作業部会」を設け、虐待防止マニュアルの作成、研修計画の作成と実施、チェックリストの集計と分析など、虐待防止に関する具体的な取り組みを検討して実施しました。

## 重点事項の達成状況

- 1 災害対策の充実強化
  - ・久喜市と協定を結び、指定緊急避難場所、指定福祉避難所として地域の災害時救援対策とネットワーク構築に貢献しています。
  - ・各事業所の防災計画を見直しました。
- 2 経営財源の確保（全事業所の定員充足の努力）
  - ・全事業所をあげての努力がほぼ満足する結果を残しました。
- 3 人材育成と人材確保
  - ・職員個々の育成、能力開発、組織活性化を主たる目的とした職務点検活動を継続実施しました。
  - ・幹部職員による自主勉強会を開催し、多角的にテーマを決めて意見交換を行ない、幹部としての意識と質の向上を図りました。
  - ・産業医による心身の健康相談を実施し、労働環境の充実に努めました。
  - ・ストレスチェックを実施し、労働環境の充実に努めました。
- 4 施設整備
  - ・予定していたものはほぼ達成しました。（前掲）
- 5 支援センターの充実強化
  - ・平成 28 年 4 月に就労支援センターのサテライト窓口を久喜駅近くに開設し、利便性の良い環境で、主に精神・発達障害の方に特化した就労支援を行いました。アセスメントに基づいた支援を行ったことで就職率・定着率とも向上しました。
  - ・臨床発達心理士を配置し、幼稚園、保育園、小学校等を巡回して発達が気になるお子さんの療育相談を実施しました。ニーズが多くあり、相談の依頼が年々増えています。
- 6 入所利用者の高齢化、重度化へ対応する久喜けいわの旧棟増改築の準備及び資金計画
  - ・旧棟改築に至るまでの中期整備計画と資金調達について検討中です。
  - ・中期整備として男性棟の改築を検討中です。